



【PRESS RELEASE】

報道関係者各位

2010年10月4日

NPO 法人映像産業振興機構

Passionate・Attractive・Original なクリエイティブスペース

コ・フェスタ PAO 開催決定！

佐藤雅彦(表現方法研究者)、三宅一生(デザイナー)、宮本茂(ゲームプロデューサー)、
藤村忠寿(テレビディレクター)、佐藤可土和(アートディレクター)など
国内外で活躍する10人のクリエイターらによる若手クリエイター発掘・育成プロジェクト

～ 本日より一般参加者の募集開始(無料) ～

国内外で今最も活躍するクリエイターら10人が、次世代の新しいクリエイターを発掘・育成するプロジェクト「コ・フェスタ PAO (読み方: パオ)」(URL: <http://www.cofestapao.jp>) を、10月20日(水)から3月27日(日)まで東京・六本木の東京ミッドタウンにて開催します。「コ・フェスタ PAO」は、2007年より開催されているゲーム、アニメ、マンガ、キャラクター、放送、音楽、映画といったコンテンツ産業およびファッション、デザインなどコンテンツと親和性の高い産業に関わる各種イベントが連携して開催する、世界最大規模の統合的コンテンツフェスティバル「JAPAN 国際コンテンツフェスティバル(コ・フェスタ)」の連携イベントとして開催されます。本日より、一般の参加者の募集を開始します。

「コ・フェスタ PAO」は、10人のトップクリエイターらがプロジェクト・デザイナーとなり、それぞれ1つ合計10の“映像”と関連付けた次世代の新しいクリエイター発掘・育成のための企画を提案し、これをトークショー、ワークショップ、展示などを通じて披露するプロジェクトです。各プロジェクトは、若いクリエイターあるいはクリエイターを志す若者を巻き込み、プロジェクト・デザイナーのプロデュースのもと、新たな創作活動や、トークイベントへの参加による貴重でエキサイティングな経験をすることで、若者たちの情熱的(Passionate)で魅力的(Attractive)、かつ独創的(Original)な新発想を生み出すことを目指します。プロジェクトでは、東京ミッドタウンの芝生広場内での「PAO テント」の設営や、3人の若手映像作家による3本のPAOオリジナル中編映画の発表など様々な企画を予定しています。(各PAOプロジェクト概要詳細は別紙ご参照)

経済産業省では今後10年間でコンテンツ市場を約20兆円規模に拡大させることを目指しています。この目標を達成するためには、日本発のコンテンツの創造力・競争力を高める優秀なクリエイターがより多く生まれる環境作りが重要です。コ・フェスタ PAO は、まさにこの次代のコンテンツ産業を支えるクリエイターおよびクリエイター予備軍に刺激を与え、人材の誕生と育成を目的に開催します。

この「コ・フェスタ PAO」の主旨に賛同して、表現方法研究者・佐藤雅彦氏、デザイナー・三宅一生氏、ゲームプロデューサー/任天堂(株)専務取締役・宮本茂氏、音楽プロデューサー・武部聡志氏、テレビディレクター・藤村忠寿氏、ファッションジャーナリスト・生駒芳子氏、バーチャルリアリティ研究者・谷川智洋氏、編集工学者・松岡正剛氏、ロボットクリエイター・高橋智隆氏、アートディレクター・佐藤可土和氏の10人のプロジェクト・デザイナーが参加します。それぞれのプロジェクトがどのようなものになるか、ぜひご期待ください。

以上

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社トレイントラックス(コ・フェスタ PAO 広報代理店) 担当: 小牧・宮本・山角

TEL: 03-5738-4177、FAX: 03-5738-4178、E-mail: pr@traintracks.jp



■ コ・フェスタ PAO 開催概要 (敬称略)

- 期間： 2010年10月20日(水)～2011年3月27日(日)の中で随時開催
- 場所： 東京ミッドタウン内(ホール、カンファレンスルーム、芝生広場など実施場所は日、時間帯によって異なる)
住所： 東京都港区赤坂 9-7-1

➤ プロジェクト・デザイナー：

10月20日(水)	12月7日(火)	未定		
佐藤 雅彦	三宅 一生	宮本 茂	武部 聡志	藤村 忠寿
				
表現方法研究者	デザイナー	ゲームプロデューサー/ 任天堂(株)専務取締役	音楽プロデューサー	テレビディレクター
未定				
生駒 芳子	谷川 智洋	松岡 正剛	高橋 智隆	佐藤 可士和
				
ファッション ジャーナリスト	バーチャルリアリティ 研究者	編集工学者	ロボット クリエイター	アートディレクター

➤ プロジェクト内容 (その他のプロジェクト内容は公式ホームページにて順次発表)：

- 佐藤 雅彦 PAO
東京ミッドタウン・ガーデン内の 21_21 DESIGN SIGHT で開催中の佐藤雅彦ディレクション「“これも自分と認めざるをえない”展」(7月16日～11月3日)の1日をコ・フェスタ PAO の日として、その展示を無料で広く一般に開放すると共に、特別講義とトークイベントを実施する。
 - ✓ 特別講義『佐藤雅彦による表現方法論 「 :ルール」 「 :トーン」』
将来映像分野で活動することを目指している学生を対象に、佐藤雅彦氏がこれまで携ってきた映像の企画と制作において「ルール」と「トーン」という2つの概念のもとに、新しい映像表現をどのように作り出してきたかを授業形式で伝える。過去に佐藤雅彦が慶應義塾大学にて行っていた講義をコ・フェスタ PAO のために再現。佐藤が提唱してきた、自分独自の新しい表現を生み出すための「作り方を作る」という考え



方を学ぶことができる。

- ✓ トークイベント『佐藤雅彦×ユーフラテスによる新しい映像制作の作り方』(仮)
佐藤雅彦とユーフラテスが数年前から自主的に制作してきた映像作品集を紹介するとともに、現在制作中のロトスコープを使った新作映像にどのように新しい概念を吹き込んでいくかという構想について話す。

- 藤村 忠寿 PAO

「水曜どうでしょう」のディレクター藤村忠寿 (HTB 北海道テレビ) と、コ・フェスタのパートナーイベントである SAPPORO ショートフェスト (札幌国際短編映画祭: <http://www.sapporoshortfest.jp/>) がコラボレーション。

SAPPORO ショートフェスト 2010 (10月6日~10月11日) において、「SAPPORO ショートフェスト5周年記念特別賞」を設け、映画祭に参加した日本映画の中から、藤村ディレクターが、今後の期待される3名の日本人監督を選出。彼らの手によって新しい短編映画を制作する。3監督の選出は、映画祭実行委員会の協力のもとに行われ、10月10日午後7時半からの SAPPORO ショートフェスト 2010 アワードセレモニー (会場: ホワイトロックシアター) の中で、藤村ディレクター自らによって発表及び賞の授与を行う。それぞれの監督には、コ・フェスタ PAO が短編映画制作費を提供。制作された短編映画はコ・フェスタ PAO (2011年3月予定) で上映され、上映イベントには藤村ディレクターも参加する予定。

SAPPORO ショートフェストは、2006年に始まって以来、世界120カ国から12,000本以上の作品応募を集め、延べ4万人の入場者を記録してきたアジアを代表する国際映画祭。過去には、映画祭でノミネートされた作品が世界最大のクレルモンフェラン国際短編映画祭(LAB部門)でグランプリを獲得、昨年はベルリン国際映画祭の招待作品にも選出された。若いフィルムメーカーの育成にも力を入れてきた札幌発の映画祭と、同じく地元札幌の名物ディレクター藤村忠寿がコラボレーションし、地方から全国へ、日本から世界へとコンテンツを発信できる、新しい国際的な才能の発掘を試みる。

- 参加申込み方法: コ・フェスタ PAO 公式ホームページより、プロジェクト毎に事前申し込み。本日から10月20日の佐藤雅彦 PAO の事前参加受付開始。その他のプロジェクトの参加申し込み時期・方法は順次公式ホームページにて発表
- 参加料金: 無料
- 公式ホームページ: <http://www.cofestapao.jp>
- 一般問い合わせ先: コ・フェスタ PAO 事務局
TEL: 03-5776-7216 (受付時間は平日 10:00~17:00)
E-mail: info@cofestapao.jp
- 主催: 経済産業省、NPO 法人映像産業振興機構

プレスの皆様には、コ・フェスタ PAO 当日のご観覧・ご取材が可能となっております。詳細につきましては、上記お問い合わせ先: 株式会社トレイントラックスまでご連絡ください。